

環境に関する住民アンケート調査結果（速報）

「第二期島本町環境基本計画」の策定にあたり、環境に対する社会動向や住民の意識など、現行の島本町環境基本計画策定以降の変化を的確に捉えるとともに、町への意向などを把握し、同計画に反映させることを目的に、アンケート調査を実施しました。

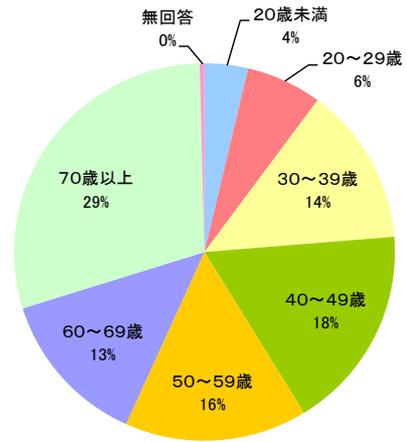
住民アンケート調査の概要は、以下のとおりです。

項目	調査結果
対象	島本町在住の16歳以上の住民3,000人（無作為抽出）
調査方法	直接郵送法 （回答は郵送またはWEBを選択）
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・あなた自身について・環境問題への関心について・町の環境や日々の暮らしについて・環境学習や環境活動について・地球温暖化対策について・生物多様性について・将来の町の環境について
実施期間	2024年6月17日～7月10日
回収状況	1,244件（回収率：41.5%）

■ あなた自身について

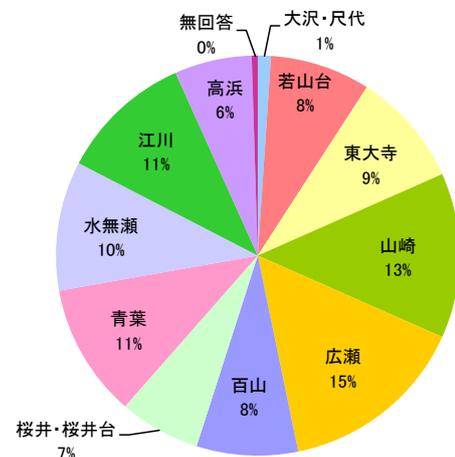
①年代

年代は、「70歳以上（29%）」が最も多く、次いで「40～49歳（18%）」、「50～59歳（16%）」、「30～39歳（14%）」、「60～69歳（13%）」、「20～29歳（6%）」、「20歳未満（4%）」の順でした。



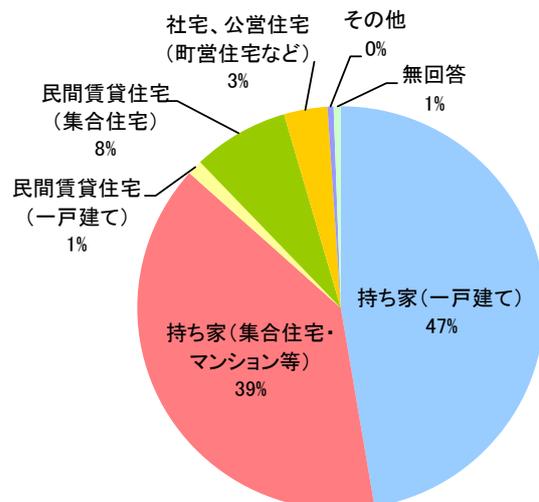
②お住まいの地域

お住まいの地域は、「広瀬（15%）」が最も多く、次いで「山崎（13%）」、「青葉（11%）」及び「江川（11%）」、「水無瀬（10%）」の順でした。



③お住いの形態

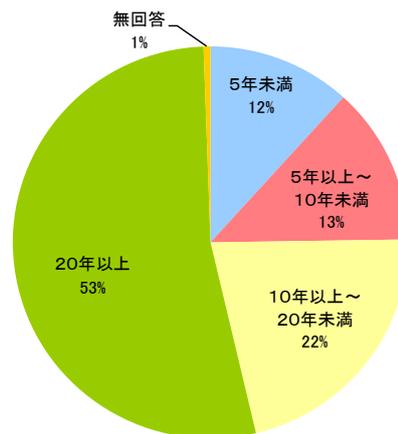
お住いの形態は、「持ち家（一戸建て）（47%）」が最も多く、次いで「持ち家（集合住宅・マンション等）（39%）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）（8%）」、「社宅、公営住宅（町営住宅など）（3%）」、「民間賃貸住宅（一戸建て）（1%）」の順でした。



④居住年数

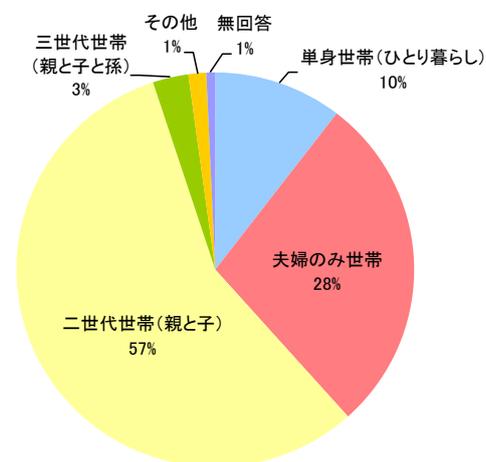
居住年数は、「20年以上（53%）」が最も多く、次いで「10年以上20年未満（22%）」、「5年以上10年未満（13%）」、「5年未満（12%）」の順でした。

居住年数が10年以上の住民が、全体の75%を占めていました。



⑤家族構成

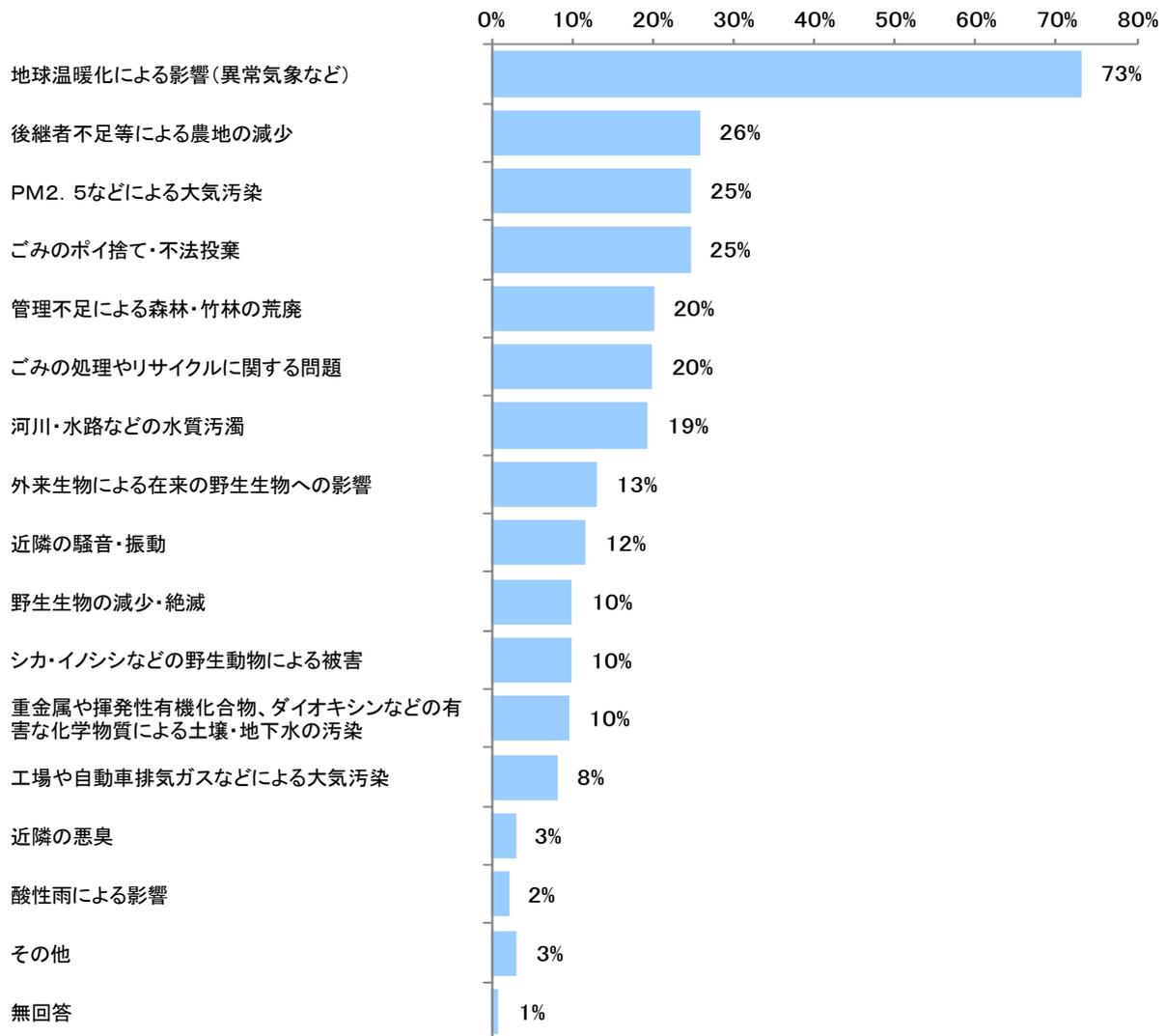
家族構成は、「二世世代世帯（親と子）（57%）」が最も多く、次いで「夫婦のみ世帯（28%）」、「単身世帯（ひとり暮らし）（10%）」、「三世世代世帯（親と子と孫）（3%）」の順でした。



問 1 あなたはどのような環境問題に関心をお持ちですか。あてはまる番号に○をつけてください。
(○は3つまで)

「地球温暖化による影響（異常気象など）（73%）」が最も多く、次いで「後継者不足等による農地の減少（26%）」、「PM2.5 などによる大気汚染（25%）」及び「ごみのポイ捨て・不法投棄（25%）」の順でした。

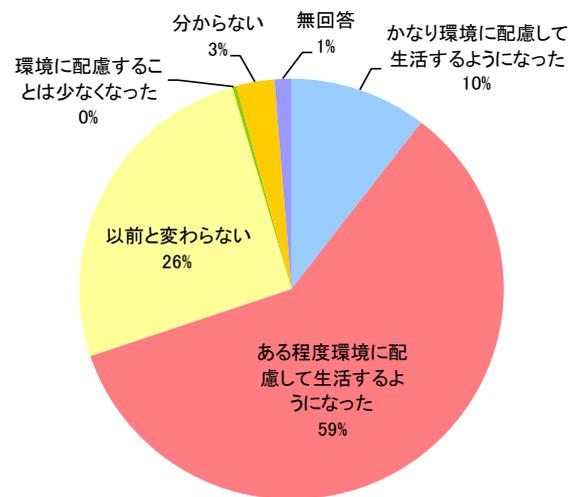
一方、「酸性雨による影響（2%）」が最も低い回答でした。



問2 あなたは、約10年前と比べて環境に配慮した生活をするようになりましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

「ある程度環境に配慮して生活するようになった(59%)」が最も多く、次いで「以前と変わらない(26%)」、「かなり環境に配慮して生活するようになった(10%)」、「分からない(3%)」、「環境に配慮することは少なくなった(0%)」の順でした。

「ある程度環境に配慮して生活するようになった(59%)」及び「かなり環境に配慮して生活するようになった(10%)」より、全体の69%の住民が約10年前と比べて環境に配慮した生活をしています。



問3 島本町の環境について、現在どのくらい満足していますか。また、今後どのくらい重要だと思えますか。次の項目ごとに、「現在の満足度」、「今後の重要度」それぞれにあてはまる番号1つに○をつけてください。

現在の満足度

「満足」及び「やや満足」を合わせた「満足している」の回答は、17項目中16項目が50%を超えていました。

「満足」が最も多かったのは「国道やJRなど、公共交通の便利さ（52%）」、次いで「自然（山や川）の豊かさ（40%）」及び「住み心地（40%）」の順でした。

一方、「不満」が最も多かったのは「自然景観・田園風景の美しさ（8%）」、次いで「環境に関する情報を得る機会（7%）」の順でした。

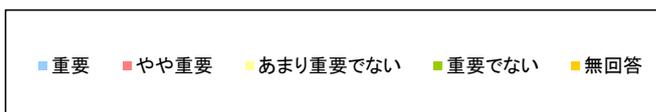


項目	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
国道やJRなど、公共交通の便利さ	52%	36%	9%	2%	1%
自然(山や川)の豊かさ	40%	45%	12%	2%	1%
住み心地	40%	49%	9%	1%	1%
離宮の水など、地下水の豊かさ	38%	49%	10%	1%	2%
水無瀬離宮や若山神社など、史跡、文化財の豊富さ	36%	54%	8%	1%	2%
空気のきれいさ	30%	54%	13%	2%	1%
まちの静けさ	29%	48%	17%	4%	1%
まちの緑の多さ	28%	44%	23%	5%	1%
まちの清潔さ	22%	55%	20%	2%	1%
自然景観・田園風景の美しさ	21%	42%	28%	8%	1%
里山など、自然とふれあいの場の多さ	20%	52%	22%	3%	2%
水無瀬川や淀川など、水辺のきれいさ	19%	53%	23%	4%	2%
動物や植物などの生物の種類の多さ	17%	58%	20%	2%	3%
自然災害に対する安全性	11%	53%	30%	4%	2%
環境を守る住民意識の高さ	7%	50%	35%	5%	2%
環境保全活動への参加のしやすさ	7%	47%	39%	4%	3%
環境に関する情報を得る機会	6%	42%	43%	7%	3%

今後の重要度

「重要」及び「やや重要」を合わせた「重要である」の回答は、17項目中全ての回答が50%を超えていました。

「重要」が最も多かったのは「住み心地（78%）」、次いで「自然災害に対する安全性（77%）」、「空気のきれいさ（74%）」の順でした。



項目	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答
住み心地	78%	18%	0%	1%	4%
自然災害に対する安全性	77%	19%	0%	1%	4%
空気のきれいさ	74%	22%	0%	1%	3%
まちの清潔さ	71%	25%	0%	1%	3%
水無瀬川や淀川など、水辺のきれいさ	69%	27%	0%	1%	3%
国道やJRなど、公共交通の便利さ	69%	25%	3%	1%	4%
離宮の水など、地下水の豊かさ	68%	26%	3%	0%	3%
自然(山や川)の豊かさ	65%	29%	2%	0%	3%
まちの緑の多さ	60%	33%	3%	1%	3%
自然景観・田園風景の美しさ	57%	35%	4%	1%	3%
まちの静けさ	56%	37%	3%	1%	3%
環境を守る住民意識の高さ	53%	40%	3%	0%	4%
水無瀬離宮や若山神社など、史跡、文化財の豊富さ	49%	38%	7%	1%	4%
里山など、自然とふれあいの場の多さ	46%	43%	6%	1%	4%
動物や植物などの生物の種類の多さ	37%	46%	11%	2%	4%
環境に関する情報を得る機会	36%	49%	10%	1%	5%
環境保全活動への参加のしやすさ	32%	49%	13%	1%	5%

問4 環境保全の取組について、以下のような考え方や意見があります。「大変そう思う」から「全くそう思わない」までの4段階で、あなたの考えや意見に最も近い選択肢を1つずつ選び、あてはまる番号に○をつけてください。

「大変そう思う」及び「ややそう思う」を合わせた「そう思う」の回答は、8項目中7項目で50%を超えていました。

「大変そう思う」が最も多かったのは「環境保全のためには、大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要だ（48%）」、次いで「日常生活の中での一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている（44%）」、「大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境学習は重要だ（43%）」の順でした。

一方、「全くそう思わない」が最も多かったのは「環境保全の取組を進めると、生活が不便になる（13%）」でした。



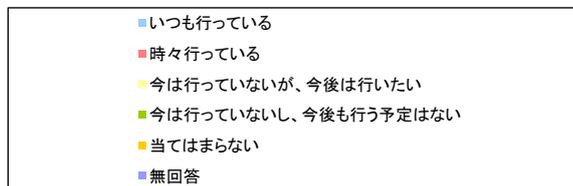
項目	大変そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
環境保全のためには、大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要だ	48%	43%	7%	1%	2%
日常生活の中での一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている	44%	47%	7%	1%	2%
大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境学習は重要だ	43%	51%	4%	1%	1%
行政が環境保全に関する施策を進める際には、施策を考える段階から、住民も積極的に参加できるようにする必要がある	33%	54%	11%	1%	2%
地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要だ	32%	55%	10%	1%	2%
フェアトレード商品など環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要だ	27%	56%	14%	2%	2%
環境保全の取組を進めることは、経済の発展につながる	22%	52%	23%	2%	2%
環境保全の取組を進めると、生活が不便になる	4%	24%	58%	13%	2%

問5 あなたのご家庭では、日常生活の中で環境に配慮した取組を行っていますか。また、今後行いたいと思いますか。現在の取組状況や今後の取組に対する意識について、次の項目ごとに最も近い選択肢を1つずつ選び、あてはまる番号に○をつけてください。

「いつも行っている」及び「時々行っている」を合わせた「行っている」の回答は、20項目中12項目が50%を超えていました。

「いつも行っている」が最も多かったのは「資源物（古紙・カン類など）の回収に参加・協力している（76%）」、次いで「油や食べかすなどを排水口から流さないよう努めている（71%）」、「観光・余暇活動の際には、自然を傷つけないように気をつけている（51%）」の順でした。

一方、「今は行っていないし、今後行う予定はない」が最も多かったのは「環境家計簿をつけている（66%）」、次いで「環境教育・環境学習活動に参加している（52%）」でした。



資源物（古紙・カン類など）の回収に参加・協力している	76%	15%	5%	2%	1%	
油や食べかすなどを排水口から流さないよう努めている	71%	22%	5%	1%	1%	
観光・余暇活動の際には、自然を傷つけないように気をつけている	51%	30%	11%	5%	3%	
自動車を運転する際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしないよう努めている	49%	18%	4%	4%	23%	3%
家庭で花や緑を植えている	44%	20%	14%	20%	2%	
節電などの省エネに努めている	43%	45%	8%	3%	1%	
外出時はできるだけ公共交通機関を利用している	41%	37%	11%	9%	2%	
電化製品や車は省エネ型、節水型の製品を優先的に選んで購入している	40%	37%	15%	6%	2%	
できるだけごみを出さないよう努めている	36%	44%	16%	3%	2%	
太陽光発電システムの設置や再生可能エネルギー比率の高い電力会社との契約あるいは「再エネ電力メニュー」を選択している	14%	13%	33%	37%	3%	
エコマークなどのついた環境にやさしい製品を購入している	13%	49%	25%	11%	2%	
地元で採れた、旬の食材を味わう	13%	52%	25%	8%	2%	
リサイクルショップを活用している（フリマアプリなども含む）	12%	36%	26%	24%	2%	
緑化活動やごみ拾いなど、地域や町が行う環境行事に参加している	9%	22%	38%	29%	2%	
有機農産物、間伐材を使用した製品などを購入している	5%	41%	32%	19%	3%	
フェアトレード商品を購入している	4%	30%	43%	18%	5%	
休日など、自然環境にふれる機会（森林ボランティアなど）を作っている	3%	13%	37%	44%	3%	
環境家計簿をつけている	3%	3%	25%	66%	3%	
講習会などで得た知識を活用し、環境保全に関する取組を実践している	2%	9%	42%	44%	3%	
環境教育・環境学習活動に参加している	1%	6%	38%	52%	3%	

問 6 あなたのご家庭では、次のような環境に配慮した設備や機器について設置・利用や取組をしていますか。また、今後の利用や取組を検討していますか。項目ごとに選択肢を1つずつ選び、あてはまる番号に○をつけてください。

「利用している」が最も多かったのは「省エネ家電（テレビ、エアコン、冷蔵庫、照明など）（72%）」、次いで「高効率給湯器（エネファームなどの家庭用燃料電池、エコジョーズなどの潜熱回収型給湯器、エコキュートなどのヒートポンプ給湯器、エコワンなどのハイブリッド給湯器）（31%）」、「住宅の断熱改修（二重サッシ、遮へいフィルムなど）（26%）」の順でした。

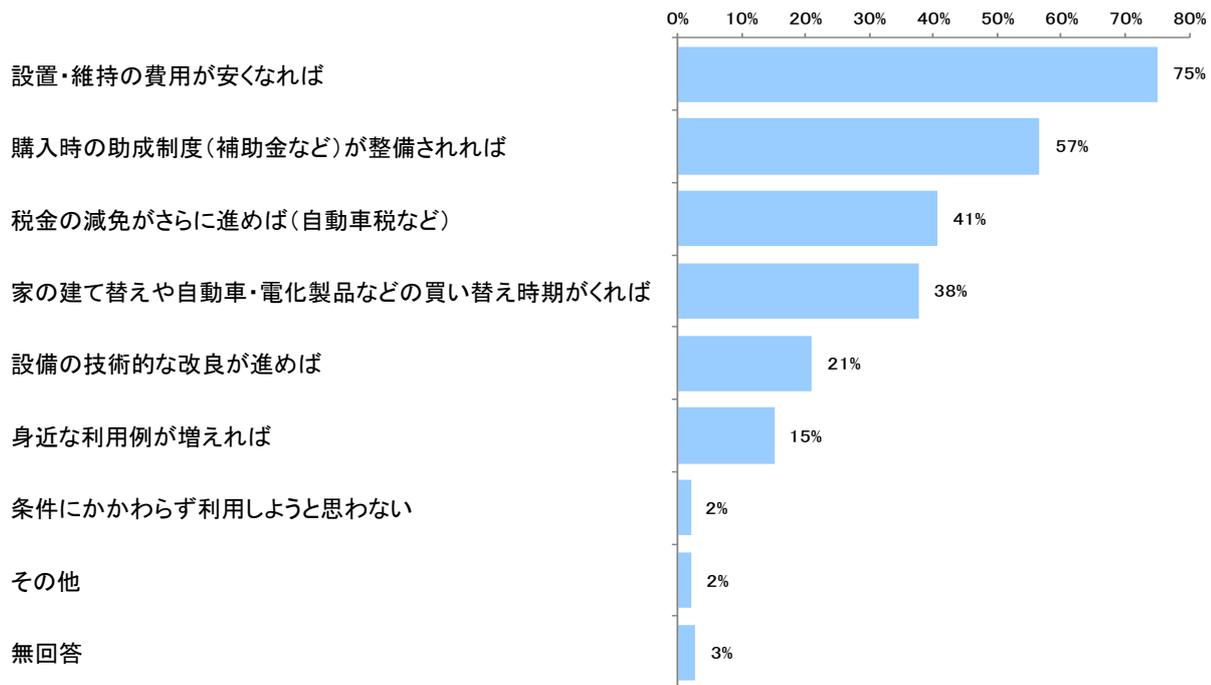
一方、「利用を検討していない」が最も多かったのは「太陽熱利用システム（太陽熱温水器など）（82%）」でした。



省エネ家電(テレビ、エアコン、冷蔵庫、照明など)	72%	21%	6%	1%
高効率給湯器(エネファームなどの家庭用燃料電池、エコジョーズなどの潜熱回収型給湯器、エコキュートなどのヒートポンプ給湯器、エコワンなどのハイブリッド給湯器)	31%	26%	40%	3%
住宅の断熱改修(二重サッシ、遮へいフィルムなど)	26%	20%	51%	3%
次世代自動車(電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車など)	23%	26%	47%	4%
太陽光発電システム	9%	13%	75%	3%
住宅のZEH※2化	3%	13%	79%	5%
太陽熱利用システム(太陽熱温水器など)	3%	12%	82%	4%
その他	1%	3%	28%	67%

問7 環境に配慮した製品について、今後どのような条件が整えば、利用したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

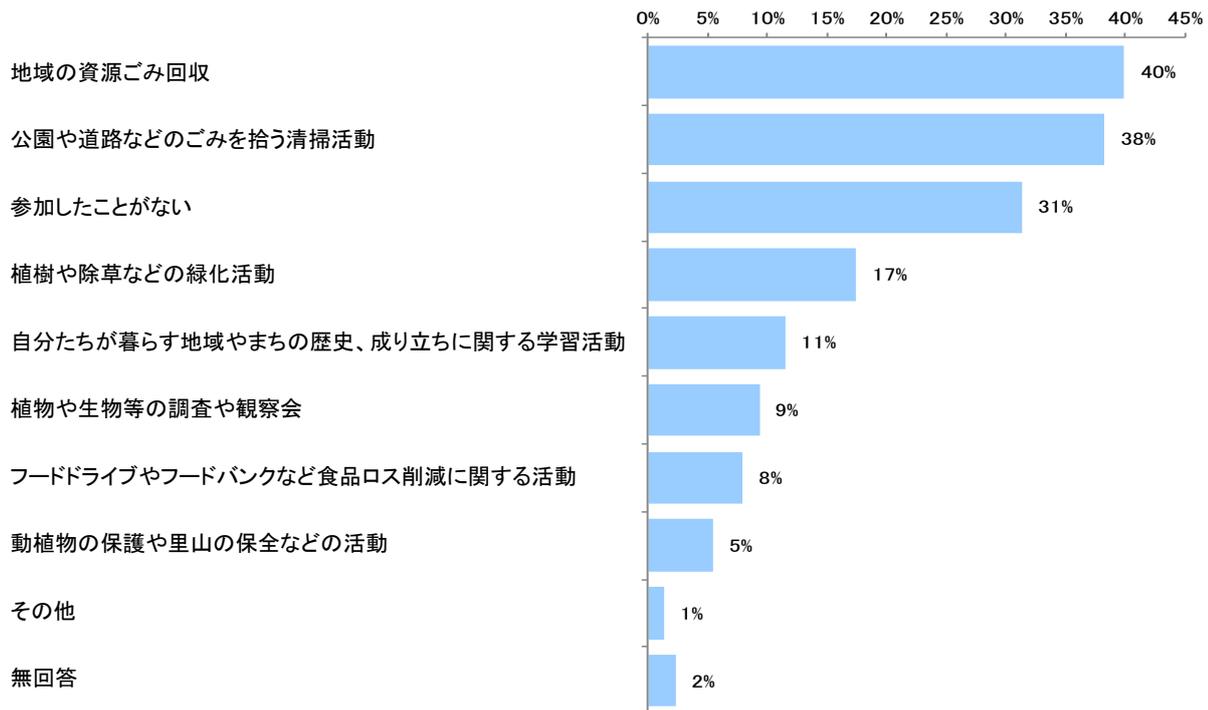
「設置・維持の費用が安くなれば(75%)」が最も多く、次いで「購入時の助成制度(補助金など)が整備されれば(57%)」、「税金の減免がさらに進めば(自動車税など)(41%)」の回答でした。



問8 あなたは、どのような地域の環境活動に参加したことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「地域の資源ごみ回収（40%）」が最も多く、次いで「公園や道路などのごみを拾う清掃活動（38%）」、「参加したことがない（31%）」の順でした。

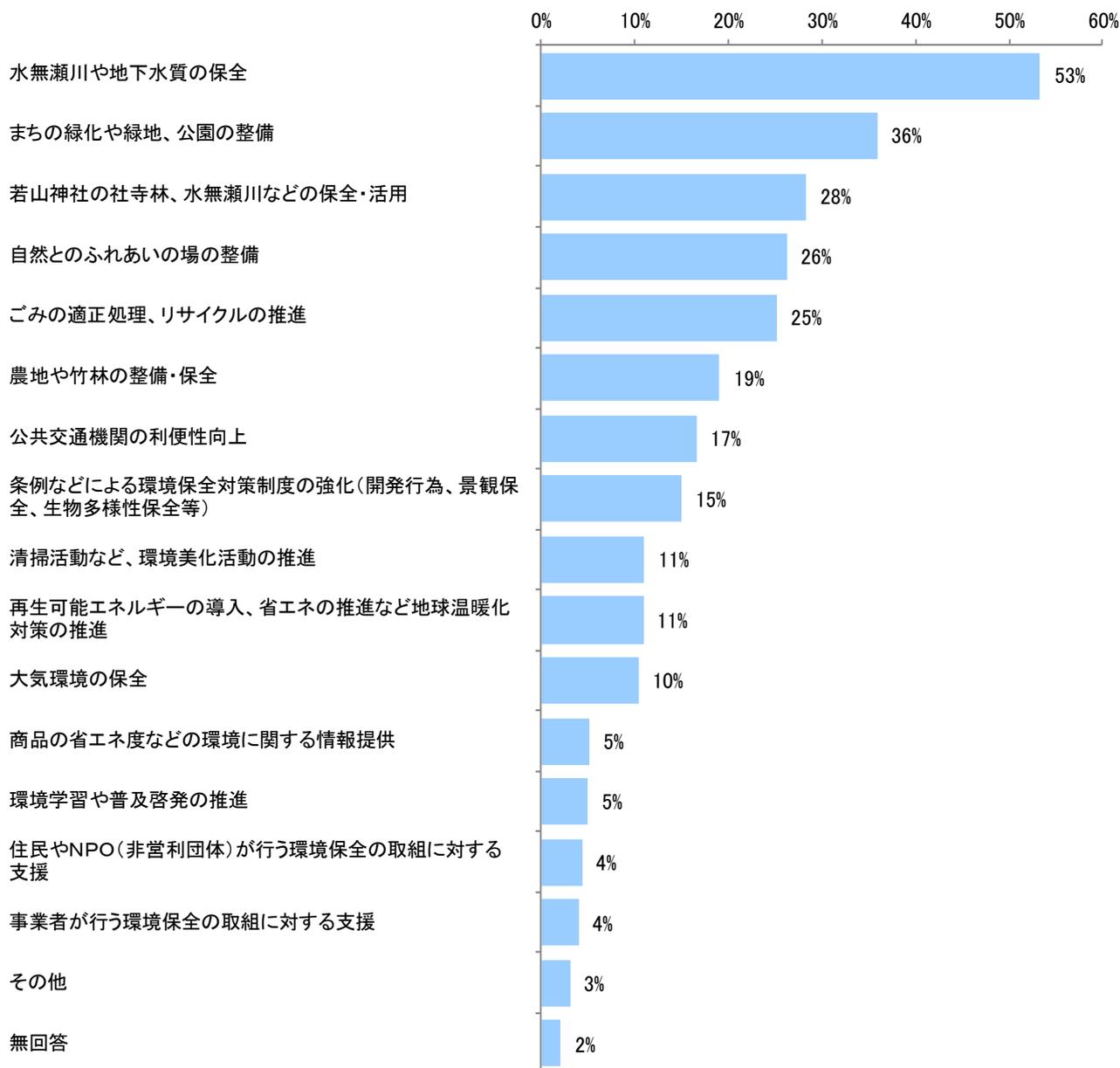
一方、「動植物の保護や里山の保全などの活動（5%）」が最も低い回答でした。



問9 島本町の環境をよりよくするためには、どのような環境保全に関する取組を進めていく必要があると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

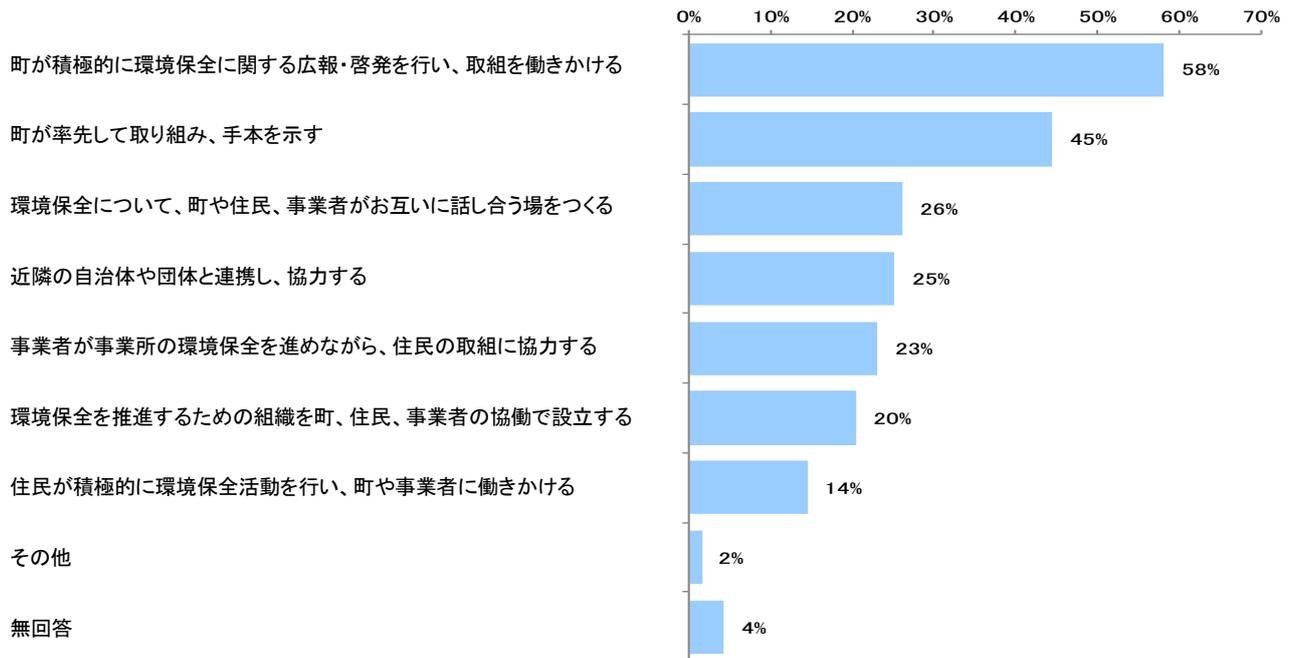
「水無瀬川や地下水質の保全（53%）」が最も多く、次いで「まちの緑化や緑地、公園の整備（36%）」、「若山神社の社寺林、水無瀬川などの保全・活用（28%）」の順でした。

一方、「事業者が行う環境保全の取組に対する支援（4%）」が最も低い回答でした。



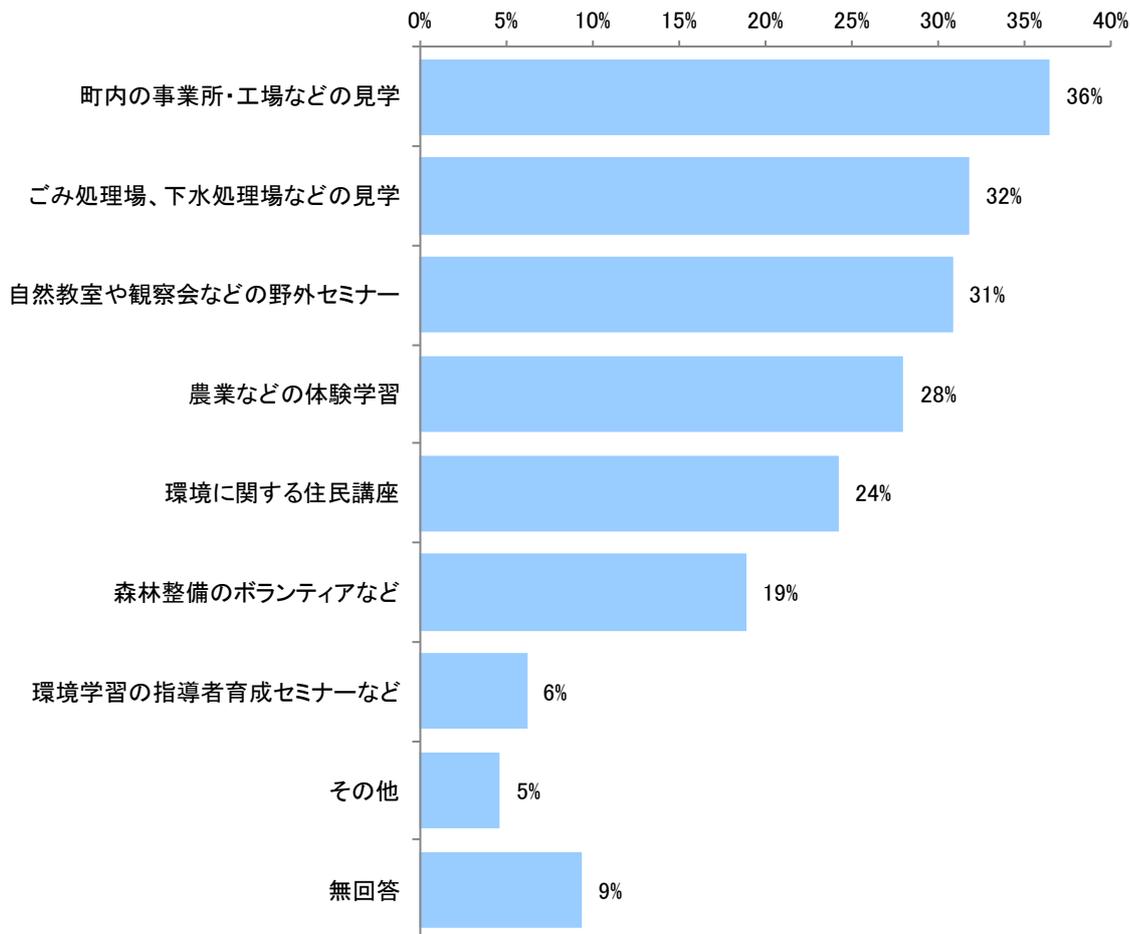
問 10 町や住民、事業者が協力して、環境保全対策に取り組んでいくために何が大切だと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。

「町が積極的に環境保全に関する広報・啓発を行い、取組を働きかける（58%）」が最も多く、次いで「町が率先して取り組み、手本を示す（45%）」、「環境保全について、町や住民、事業者がお互いに話し合う場をつくる（26%）」の順でした。



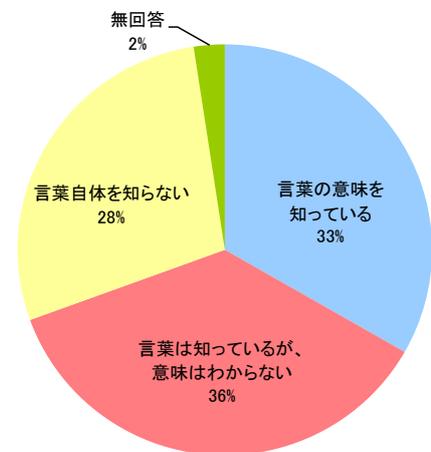
問 11 あなたが参加したいと思う、または興味をもてると思う環境学習はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

「町内の事業所・工場などの見学（36%）」が最も多く、次いで「ごみ処理場、下水処理場などの見学（32%）」、「自然教室や観察会などの野外セミナー（31%）」の順でした。



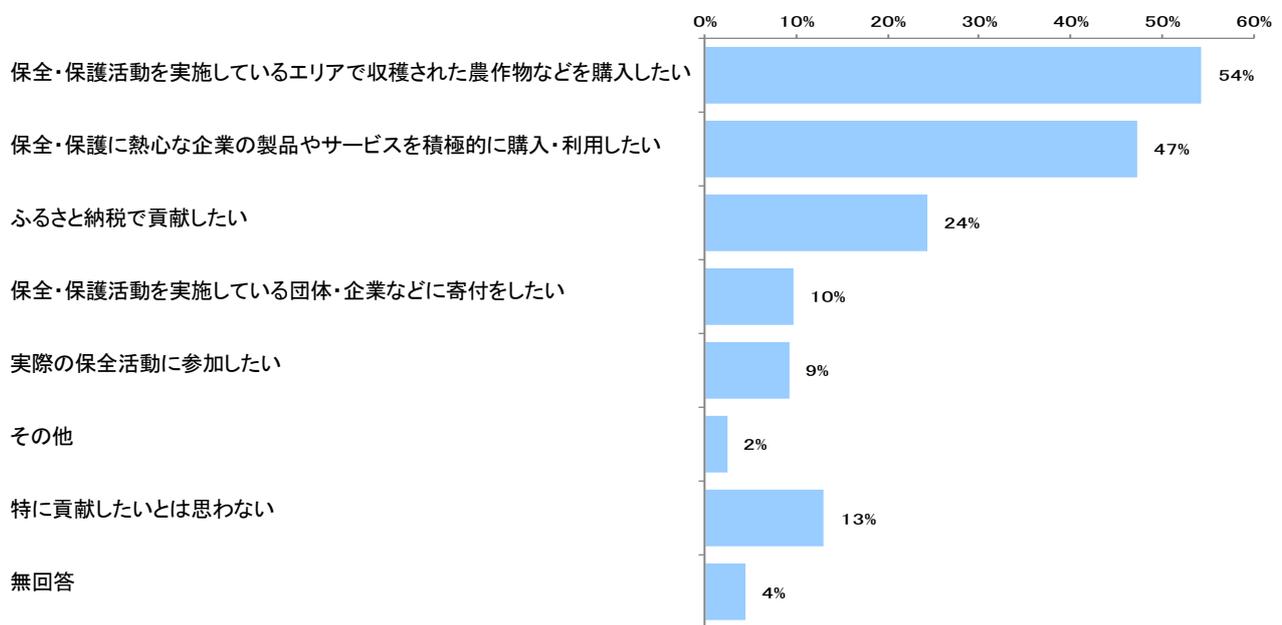
問 12 「生物多様性」とは、生物の豊かな個性とつながりのことで、私たちが自然から受ける様々な恵みの基盤ですが、あなたは「生物多様性」について知っていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

「言葉は知っているが、意味はわからない (36%)」が最も多く、次いで「言葉の意味を知っている (33%)」、「言葉自体を知らない (28%)」の順でした。



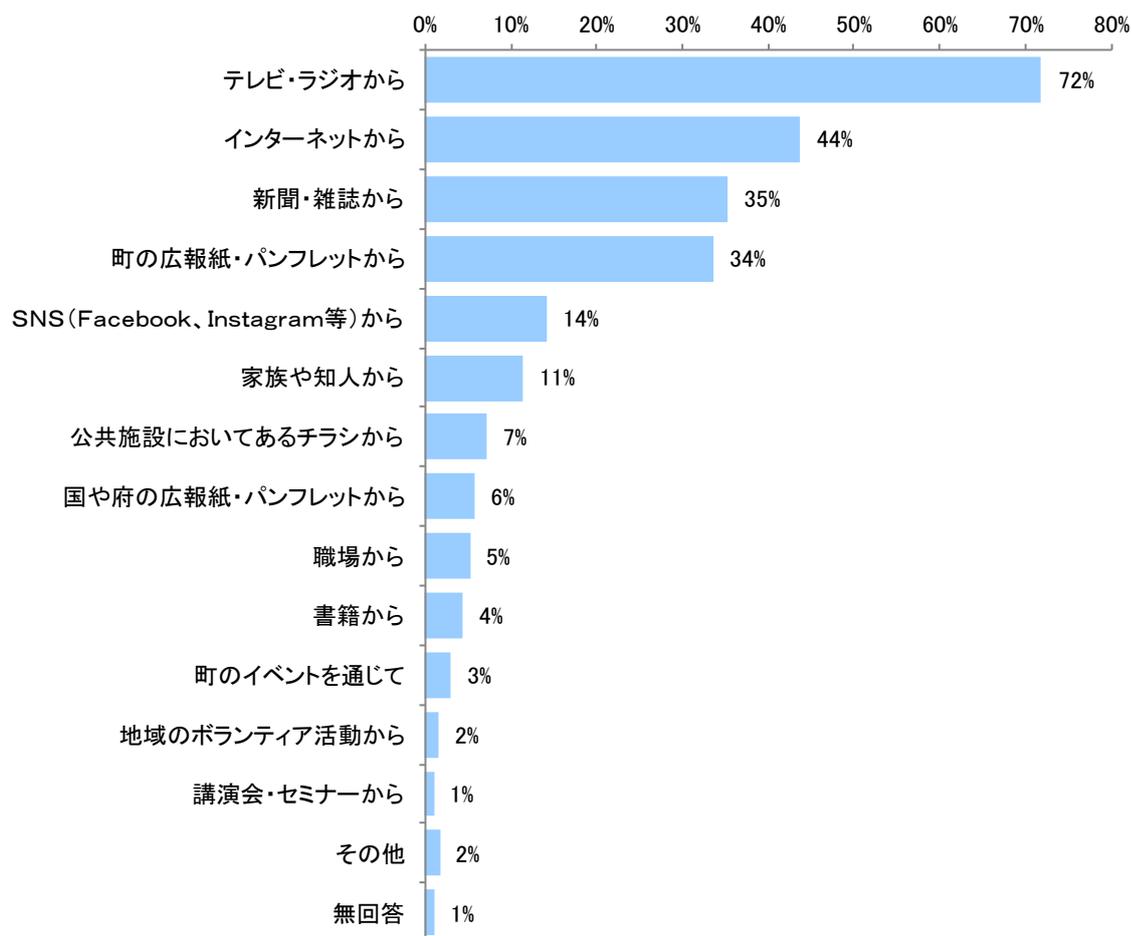
問 13 2021年6月に開催された主要7か国首脳会議で、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャー・ポジティブ）という目標達成に向け、世界の陸と海の30%を保全・保護すること（30by30：サーティ・バイ・サーティ）が約束されました。自然や生物を守るために、あなたはどのような取組で貢献したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は3つまで）

「保全・保護活動を実施しているエリアで収穫された農作物などを購入したい（54%）」が最も多く、次いで「保全・保護に熱心な企業の製品やサービスを積極的に購入・利用したい（47%）」、「ふるさと納税で貢献したい（24%）」の順でした。



問 14 あなたは普段、どのような方法で環境に関する情報を入手していますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

最も多かったのは「テレビ・ラジオから (72%)」、次いで「インターネットから (44%)」、「新聞・雑誌から (35%)」の順でした。



問 15 島本町の環境が、将来どのようなようになってほしいと思いますか。また、どのような環境にしたい
と思いますか。ご自由にお書きください。

ご意見・ご提案等について、最も多かった回答は「自然環境（404件）」でした。緑地や農地、生物の
保全、水質や大気質の維持に関する意見が多くを占めていました。

「都市環境（212件）」は、マンション建設に伴う環境の悪化や交通への影響、騒音・振動等について、
「生活環境（176件）」は道路や公園の整備、害虫や雑草の対策等について、「環境学習（14件）」は農業
体験講習会の実施、「情報発信（12件）」は広報等での環境に関する活動の発信、「地球温暖化（10件）」
は太陽光発電や水力発電の導入、「循環（9件）」はごみの回収、「ライフスタイル（6件）」は歩きタバコ
やポイ捨てへの対策、「その他（78件）」は災害対策や補助、法令関係の意見がありました。

